

平成25年度 事業計画

基本方針

一昨年、3月に発生した東日本大震災により、東北地方を中心に死者・行方不明者計2万人以上にのぼる甚大な被害と福島第一原子力発電所事故に伴う放射性物質漏れや大規模停電など発生から約2年が経過した現在、ようやく復興の兆しが見えてきている。また、昨年はロンドン・オリンピックやパラリンピックでの日本選手の活躍、iPS細胞発見の山中教授のノーベル賞受賞など明るいニュースも数々あった。

このような状況の中、昨年末の衆議院議員選挙では自由民主党が圧勝し、安倍政権による円安、インフレ政策に期待が寄せられ、当面は国や県が緊急に実施する経済対策の効果が発揮されることを願うものである。

さらにわが国は、少子高齢社会への対応、社会保障制度の改革、教育改革等の推進、エネルギー問題への取組み等経済活動を含む社会全般に及ぶ様々な分野において構造改革を迫られており、日本の将来に向けて持続的な経済発展を実現するためには、こうした諸課題に的確に対応していくことが必要である。

当連合会並びに各会議所はこのような認識に立ち、総合経済団体として地域の発展や産業振興を図るために、産業基盤の整備や中小企業対策などの要望活動を積極的に行なうとともに、地域経済の根幹をなす中小企業を積極的に支援し、活力ある本県経済の構築に向けて、次の事項を重点事業として積極的な活動を展開する。

また、当連合会に設置している産業、環境、国際・観光、人材確保・育成など4つの政策検討会議での議論を集約し、行政等に対する提言あるいは商工会議所を取り巻く諸問題や環境の変化に対応するための活動報告を取りまとめる。

さらに、これまでも増して県内各商工会議所との連携を深めると共に会員等とのコミュニケーションの醸成に努める。

重点事業計画

I 県内各商工会議所の創意を踏まえた政策課題等の要望とその実現

1. 金融危機に端を発する厳しい経営環境の景気回復に努めながら中小企業の活動が活発になることを最優先課題とした政策課題等の提言・要望活動の実施
2. 商工会議所が総合経済団体として、より一層地域の発展や産業振興に積極的な発言ができるよう活動、また事業等を展開するための政策の立案とその実現

II 「活力ある中小企業」に向けた支援体制の充実・強化

1. 創業、新製品開発等、産官学が連携協働した中小企業に対する支援策の充実強化
2. 技術開発の促進、ミームス等環境経営の促進やものづくり基盤強化のための施策の充実と支援
3. 法人県民税超過課税の有効活用
4. 官公需における中小企業の参入機会の拡大と下請け取引の適正化への取り組み
5. 県制度融資等公的融資制度の充実と円滑な資金供給の要請
6. 多種多様化する経営環境に対応する公開セミナーの実施
7. 大地震等企業の損失を最小限に抑える防災および事業継続計画等の推進と支援
8. バイオマス構想など環境に配慮した施策の推進と支援
9. 中小企業等の海外展開を支援するための東南アジア諸国等への経済事情視察ミッション団の派遣

III 商工会議所の組織・財政基盤の強化

1. 経営指導員等補助対象職員人件費を確保するとともに、中小企業相談所機能強化専門チーム等による経営改善普及事業の質的向上と施策の充実・強化
2. 商工会議所の財政基盤を強化するための自主財源確保対策の推進
3. 効率的な事業運営に向けた組織体制の充実・強化と人材育成を図るための研修の充実

IV 地域特性を活かした街づくりへの支援

1. まちづくり三法の理念を真に実現するための行動要請
2. 魅力ある個店・商店街づくり対策への協力支援
3. 空き店舗・空き地対策への協力支援
4. 後継者並びに商店街リーダー育成のための各種事業への支援
5. 中心市街地活性化に向けた研究と政策の提言

V 雇用問題等労働対策の充実

1. 求職、求人のミスマッチの解消に向けた高校と企業との就職情報交換会の実施
2. 職業能力開発の促進
3. 男女の雇用機会均等を推進するための支援策の充実
4. 中小企業への良質な人材確保に向けた事業等取り組みの強化
5. みえ次世代育成応援ネットワークの活動等少子化対策への対応強化
6. 高校生の離職防止およびキャリア教育推進のための検討会議の推進

VI 広域的ビッグプロジェクトの推進並びに地域産業を支える産業基盤の整備促進

1. 広域的ビッグプロジェクトの推進
 - (1) リニア中央新幹線の東京・大阪間の全線同時開業と県内停車駅（亀山市付近）の設置促進のため奈良県経済団体等と連携した活動の推進
 - (2) 新名神高速道路の整備促進
2. 総合交通体系の整備
 - (1) 関西本線及び紀勢本線の全線複線電化並びに利便性の向上
 - (2) 県内主要都市における鉄道の立体交差化事業の推進
 - (3) 近畿自動車道紀勢線・熊野尾鷲道路、東海環状自動車道及び第二伊勢湾岸道路、名神・名阪連絡道路の早期完工
 - (4) 北勢バイパス、中勢バイパス等県内幹線道路網の整備促進
 - (5) 指定特定重要港湾「四日市港」の機能強化と臨港道路霞4号幹線の整備促進、物流機能の拡充並びに地域開発拠点としての重要港湾「津松阪港」「尾鷲港」の整備
3. 地域活性化に向けた諸事業の促進
 - (1) 先端的成長産業をめざすバレー構想の推進
 - (2) 御遷宮、熊野古道を始めとする歴史的文化遺産、伊勢志摩の豊かな観光資源を活かした集客交流の促進及び中部広域観光推進協議会への積極的な参画
 - (3) 東紀州地域の拠点施設への支援及び首都圏営業拠点の設置・運営等への参画
 - (4) メタンハイドレート開発研究拠点施設の誘致
 - (5) 地球環境に配慮した安定的な電力供給に向けた電源立地の推進

Ⅶ 広域的連携の推進

1. 中部国際空港の活用とともに中部経済界との交流連携の一層の推進
2. 「関西広域連携協議会」への参画など関西経済団体との交流と連携
3. 近畿圏内陸部の新文化創造エリアの形成を目指す「京滋奈三広域交流圏研究会」への参画
4. 行政区域を越えた広域的な事業展開の促進

Ⅷ 総合経済団体としての商工会議所活動の強化・充実

1. 地域産業の活性化、地域振興対策等に対する意見具申及び要望活動の展開
2. 商工会議所活動の広報強化
3. 三重県及び三重県産業支援センターとの連携の強化
4. 日本商工会議所、東海商工会議所連合会等との連携の強化
5. 三重県商工会連合会、三重県中小企業団体中央会、三重県経営者協会等県内経済団体との連携の強化
6. 中小企業を取り巻く諸問題への対応を図るための4つの政策検討会議の推進
7. 「中小企業経営力強化支援法」に対する県内各商工会議所への支援